

東日本大震災の復興に向けて がんばれ東北

東日本大震災の発生にあたって

神崎市議会 議長 松本 軍 二

東日本大震災で犠牲となられた多くの方々、被災され今なお避難されている多くの方々に対し、心からお悔やみと御見舞いを申し上げます。

予想をはるかに超えたこの巨大地震、そして今までにない津波が発生し原子力発電所にもあってはならない被害あり、原子力発電所の被害による放射性物質の飛散により放射能汚染が懸念されていますが、市議会といたしまして、被災地の一日も早い復興を願う所です。

大震災でお亡くなりになられたの方々に対し、心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

神崎市議会議員一同

東日本大震災における神崎市の取り組み

Q 太平洋沖地震に伴う対応について。

A 3月11日（金曜日）14時46分地震発生。
震度7の地震発生により、有明海に津波警報が発令。
災害情報連絡室（災害対策本部）を設置。
筑後川、城原川流域地区区長へ連絡。
避難所開設及び、筑後川、城原川沿線で広報活動実施。（2台）



Q 被災地に対しての対応について。

A 支援物資、義援金の呼び掛をして、3月14日より本庁及び各支所にて受付を開始する。
避難者の受入準備及び職員派遣等も行っている。

A 神崎市議会では全議員から義援金として50万円を募り、善意銀行を通じて送りました。
（神崎市議会事務局）